

多店舗企業 | 本部の品質と 店舗のリアルを両立する動画ガバナンス

— 共通ルールと店舗の裁量を整理し、確認・公開・改善を続ける。

本部でそろえることと、店舗で決めることを分ける。

本部

共通のブランド・表示・確認基準

店舗

現場の疑問・地域の特徴・日常の工夫

すべてを本部が作る形も、すべてを店舗へ任せる形も前提にせず、自社の体制に合う分担を決めます。

共通の基準と現場の工夫を、**つなげて**いきましょう。

店舗の困りごとから、共通ルールを作る。

聞き取る内容

- 企画を決められない箇所
- 確認で止まる理由
- 素材や表現で迷うこと
- 公開後に起きた認識差

現場の例を集め、必要なルールから短く整えます。

困る場面から整えると、**使えるルール**になります。

共通にする基準は、具体的な項目へ。

基準の例

- 店名・ロゴ・基本の表記
- 価格・期間・対象条件
- 人物や素材の公開許可
- 禁止する表現や未確認情報
- 公開前に確認する担当

抽象的な「ブランドらしさ」だけでなく、確認できる項目にします。

確認できる基準が、店舗の迷いを減らします。

店舗の裁量を、事前に明らかにする。

店舗で決める候補

- 地域でよく聞かれる質問
- スタッフの仕事の工夫
- 許可された店内の案内
- 本部で確認した型の使い方

価格や契約条件などの変更を、店舗独自の企画と混同しないようにします。

任せる範囲が明確だと、**現場の工夫**を生かせます。

制作実務と育成実務を、 同じ流れで教えられる。

ショート動画屋さんは、広告、SNS運用、通販、営業、採用など目的の異なる動画を
200社以上・3,000本以上制作してきました。

ディレクター・構成・撮影・編集を分け、複数人で速く品質を揃える制作フローを運用しています。

制作フロー（役割を分けて、速く品質を揃える）

ディレクター

目的・ターゲット・
企画の方向性を
決める

構成

台本・構成案を
作成する

撮影

構成に基づき
撮影する

編集

カット・テロップ・
BGMなどを整え
仕上げる

内製化支援での引き継ぎ

実際に制作へ携わる担当者が、
この流れを企業の人員・目的・
頻度に合わせて移します。

実際の流れをそのまま社内で再現し、**制作を続けられる体制**をつくりましょう。

内容のリスクに応じて、確認経路を変える。

運用例

<u>定型</u>	店舗責任者が共通基準で確認
<u>条件変更</u>	本部の担当部署が確認
<u>専門・権利事項</u>	専門担当者へ確認
<u>事故や苦情</u>	既定の対応責任者へ連絡

判断に迷う内容は公開を保留できるルールにします。

相談しやすい確認経路で、**安心して**制作を進めましょう。

承認する対象の版を、一つにそろえる。

依頼に添えるもの

- 企画の目的と対象店舗
- 動画のリンクと版番号
- 価格や期間などの根拠
- 確認してほしい点と期限

承認後に内容を変更したら、変更点を示して再確認します。

同じ版を見て話せると、**承認が進めやすくなります。**

テンプレートは、固定部分と変更部分を示す。

テンプレートの管理

固定部分

基本表記・確認項目・注意事項

変更部分

店舗名・現場の素材・許可された案内

版の管理

最新の版と更新日を表示

利用の確認

古いテンプレートが残っていないか

どこを変えてよいかを明示し、更新時の案内先も決めます。

変えてよい部分を示し、**店舗らしい発信**を支えましょう。

アカウントの管理を、個人任せにしない。

点検する項目

- 管理責任者と連絡先
- 役割に合うアクセス権
- 異動・退職時の引き継ぎ
- トラブル時の対応経路

各サービスの安全な管理機能を確認し、パスワードの共有だけに頼らない運用を検討します。

引き継げる管理で、日々の発信を続けましょう。

公開済みの動画を、店舗横断で探せるように。

管理表の項目

- 店舗と企画の管理番号
- 素材・許可・承認の記録
- 公開日と掲載先
- キャンペーンの期限
- 更新・非公開の担当

条件変更時に対象動画をまとめて点検できる状態を作ります。

探せる記録が、店舗をまたぐ**情報更新**を助けます。

誤りを見つけたときの、連絡と判断を決める。

対応の流れ

- 発見内容と掲載先を記録
- 担当者へ速やかに連絡
- 責任者が修正・非公開などを判断
- 関係する投稿や案内先を確認
- 再発防止を基準へ反映

店舗が一人で抱えず、相談できる窓口を用意します。

早く相談できる仕組みで、現場を支えましょう。

店舗ごとの条件をそろえて、改善を共有する。

比較時の確認

- 商圈や店舗規模
- 投稿の目的と本数
- 広告費とキャンペーン
- 集計期間と導線

数値だけの順位付けにせず、他店へ応用できる工夫と条件を共有します。

条件と工夫を共有し、互いの改善に役立てましょう。

少数の店舗で、確認の流れを試す。

モデルケース

- 協力できる店舗で共通企画を実施
- 固定部分と店舗ごとの変更箇所を確認
- 承認待ちと制作負荷を記録
- 役立った型を整えて展開

導入例であり、全店一律の成果を保証するものではありません。

小さく試して、現場で**使える型**に育てましょう。

展開の前に、支援できる量を確認める。

見直す項目

- 本部の確認にかかる時間
- 店舗の撮影・編集の負荷
- 問い合わせへの対応体制
- テンプレートの更新方法

店舗数を増やす前に、教育と確認が無理なく回るかを検証します。

支援できる体制から、無理のない展開を始めましょう。

共通の品質を守り、店舗の工夫が伝わる発信へ。

今日決める5つ

- 本部と店舗の担当範囲
- 共通基準と変更できる部分
- 内容別の確認経路
- 公開・更新・トラブルの責任者
- 最初に試す店舗と振り返り日

ショート動画屋さんの内製化支援では、貴社に合う役割・手順・改善方法を一緒に設計します。

自社の内製範囲を相談する